

2019年度獣医同窓会代議員会議事録

日時:2019年6月1日(土)午後13時より
場所:酪農学園大学 同窓生会館2階 大会議室

代議員:

出席者 13名

澤 正樹(宗谷)、後藤 忠彦(宮城)、小形 芳美(山形)、久保 明(福島)、渡邊 正信(栃木)、
渡邊 守都(東京)、田中 清司(長野)、藤井 謙芳(石川)、小嶋 裕隆(愛知)、岩佐 達男(岐阜)、
篠原 修(高知)、安倍明德(熊本)、北村 裕和(大分)

欠席(委任状有り) 25名

小岩 政照(石狩)、岡井 和彦(日高)、久保田 郁生(渡島・檜山)、宮崎 義明(十勝)、佐々木 瑛子(釧路)、
川島 功(上川)、佐々木 一弥(岩手)、根本 久美子(茨城)、井上 貢(千葉)、平島 勝教(山梨)、
永井 勝(富山)、仲村 和典(福井)、村田耕一郎(三重)、塚原 一典(奈良)、山本 嘉彦(和歌山)、
向井 裕(京都)、長濱 伸也(兵庫)、鳥越 秀二(岡山)、竹信 幹徳(広島)、門脇 文生(鳥取)、
本田 武(徳島)、松崎 秀保(長崎)、隈元 啓文(宮崎)、千葉 昭弘(鹿児島)、田中 巧一(沖縄)

欠席(返信無し)21名

佐藤 清和(空知)、植田 寿恵弘(胆振)、釜谷 良範(網走)、脇淵 洋司(留萌)、澤谷 航一(青森)、
小松 茂(秋田)、細淵 司(埼玉)、松本 敏男(神奈川)、藤村 宗道(静岡)、丸田 真治(滋賀)、
服部 孝二(大阪)、市岡 貴典(山口)、杉橋 章義(島根)、入江 充洋(香川)、仙波 和幸(愛媛)、
田中 克明(福岡)、江永 幹雄(佐賀) ※現在、後志、根室、群馬、新潟は空席

来 賓:及川伸(学群長)

執行部:南 繁(会長)、中出 哲也(12期)、廣田 和久(副会長)、三好 健二郎(事務局長)、大杉剛夫(会計)、
吉田 充宏(監事)

議 長:南 繁 氏

議事録署名人:澤 正樹 氏、渡邊 守都 氏

・開会

事務局長より出席者の確認および定足数の確認がなされ本会議の成立が報告された

・会長挨拶

南会長よりあいさつがされ、本会議において活発な意見交換や議論のお願いがあった。

・来賓挨拶

及川学群長よりご挨拶と現在の酪農大獣医学群の状況(獣医学類の在学生状況、大学教育審査の結果や
国際認証への挑戦、獣医看護分野の国家資格への移行の可能性など)について報告をいただいた。

・支部活動報告

本会議参加の13支部より南部地域から順に近況報告および支部からの要望などが報告された。報告の中
では獣医同窓会支部としての活動実施可能・不可能と地域差があるが、共通して若い層の参加がなかなか
見込めていない現状とのことだった。また、連合同窓会を兼ねる形の地域でも同様の傾向だった。その他で
は、地域により参加同窓生の職域が偏る場合や酪小獣などの活動が同窓会としての活動になっている地域も
見られた。

・議長および議事録署名人選出

南会長より提案で議長は会長が兼任、議事録署名人は宗谷支部の澤氏と東京支部の渡邊氏との提案・推挙
がなされ了承された

議題

I. 報告事項

1. 学園、大学および獣医学類の近況について

事務局長より議案書の通り学内の人事、第70回国家試験結果、本年度の入試志願者および入学者状
況について配付資料の通り報告された。人事について一部訂正があった。

2. 獣医同窓会および校友会について

事務局長より議案書の通り本年度入会者数、昨年度の獣医学科同窓会および酪小獣の開催状況および校友会の活動概要について報告された。物故者の卒業期について一部訂正があった。以下の質問があり、学内運営に関するものだったため及川学群長より返答いただいた。また、酪小獣関連について南会長より報告があり中出副会長より追加の説明がなされた。

- ・獣医学類の受験者数 2 割減について:全国的に確実な入学が望める大学を受験する傾向があることでの受験校数が絞られている傾向がある様子。また昨今理系受験生の動向に変化が見られている。また、昨年の地震震災や新大学等の影響などがあったと本学では分析している。
- ・推薦枠拡大、大学キャッチフレーズについて:数年後にセンター試験などの入試システムが変更になる点や国の方針として決められた入試制度の変更への対応のために実施した。
- ・推薦枠拡大が学生の質を下げる懸念は無いか?:検証は必要だが学生の質の維持には努めていく。また、枠を設けてはいるが大学で定めた一定のレベルに達していない場合は合格させていない。
- ・酪小獣について:南会長全国組織として発足し、九州以外の地区は参加している。九州地区はいったん仕切り直しをしてから改めて参加する予定とのこと。
- ・酪小獣について同窓会支部として何か紹介等の活動は必要あるか?:HP 等があるのでそれを紹介してもらえるといいと思います。
- ・以前あった講師派遣の旅費について:中出副会長より最終経緯について説明された。

3. 新理事(50 期生)就任と獣医同窓会理事の交代について

事務局長より議案書の通り報告がなされた。

4. 学内理事の交代について

事務局長より議案書の通り報告がなされた。

5. その他

追加の報告事項は無かった。

II. 審議事項および協議事項

1. 2018 年度事業報告

事務局長より議案書の通り説明され、内容について了承された。

2. 2018 年収支決算および監査報告について

事務局会計の大杉氏より資料の通り一般会計および特別会計の決算報告がなされた。引き続き吉田監事より適正に処理がなされている旨報告がなされた。なお、差異表記について質問があったが、廣田副会長より本会の表記は色々な方式があり本会では現状標記の形式で行う旨説明された。予備費が未執行だったことについて質問があったが、事務局長より昨年度は学類長からの要請がなかったため未執行で終わったことを報告された。内容確認および審議の結果了承された。

3. 2019 年度事業計画案について

事務局長より議案書の通り説明された。また追加として HP コンテンツとして教員録の作成することと同窓会コーナー充実のため小委員会を発足させ検討していくことが提案された。追加の件も含めて了承された。

4. 2019 年度収支予算案について

審議 6 を先に行った後、会計より資料の通り予算案が説明され、内容について了承された。

5. 獣医同窓会補助金規程の改正について

事務局長より議案書の通り説明された。名簿提出による終身会員の確認について検討の余地があるのではないかと提案あった。少なくとも支部活動については支部会費の納入負担をお願いしている部分もあり、支部長側より終身会費納入を促すことに少し抵抗感があるとのこと。納入者と非納入者の差別化という

主旨は理解出来るが同窓会としての懐の大きさも示して欲しいとの意見もだされた。

最終的には助成対象者を終身会員のみ限定する事について執行部にて再度検討を行う事が確認された。その他の改正部分については了承された。

6. 事務局関連の手当支給額および事務補助に対する謝礼について
事務局長より議案書の通り説明され、内容について了承された

7. 代議員および代議員会のあり方について(協議)

事務局長より議案書の通り発議され会長より発議の主旨について説明がなされた。多くの意見(一部を下記に掲載)が出され討議がなされた。最終的には、しばらく毎年開催の方向で行うが今後継続的に協議をする事が確認された。

- ・現会則では、書面会議も可能であるが、現行の代議員会の代わりとなるのであれば現状で委任状を提出している方々の意見が十分反映できる形が必要と思われる。
- ・一部の支部からは昨年同様支部会を開いても数人であり交通費の負担金など厳しい状態であり現行の代議員会への参加は正直厳しい状態が続いている。
- ・交通費の問題などは、大学愛、ボランティア精神も必要に思う。
- ・現代議員会の形式は、支部会員代表として支部長が参加し会議というのが本来の形でかもしれない。現状の支部区分を含めそのような代議員会となっているのか見直す必要はあるかもしれない。
- ・もう少し、委任者の意見も反映する会議にしなければ代議員会の意味は無いのではないか。
- ・現状では、代議員会の内容を報告するだけで会議の内容を支部会員で話す事ができていない。その意味でも議案書をなるべく早く(1ヶ月前)提示してもらえると事前に支部内でも討議が出来、より代議員として会議を開く意味が出ると思う。

8. 現役学生(準会員)に対しての同窓会事業について(継続協議)

事務局長より議案書の通り説明され、理事会での意見について了承された。

9. その他

特に審議・協議事案の発議はなされなかった。

閉会

廣田副会長より閉会の挨拶がなされ閉会した。

議事録作成 事務局長 三好健二郎

以上の議事の顛末を記録し、これを証するため署名捺印する。

渡 邊 守 敏 

澤 正 樹 